

第三者評価結果入力シート（児童養護施設）

種別	児童養護施設
----	--------

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターさが

②評価調査者研修修了番号

No.SK2021266
No.S2021103

③施設名等

名称：	聖華園
施設長氏名：	河原祐一郎
定員：	36名
所在地（都道府県）：	佐賀県
所在地（市町村以下）：	佐賀市金立町大字金立3931番地
T E L：	0952-98-1075
U R L：	http://www2.saganet.ne.jp/seikaen/

【施設の概要】

開設年月日	1949/6/1
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 慈恵会
職員数 常勤職員：	39名
職員数 非常勤職員：	1名
有資格職員の名称（ア）	保育士
上記有資格職員の人数：	18名
有資格職員の名称（イ）	社会福祉士
上記有資格職員の人数：	5名
有資格職員の名称（ウ）	精神保健福祉士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（エ）	公認心理士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（オ）	栄養士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（カ）	看護師
上記有資格職員の人数：	1名
施設設備の概要（ア）居室数：	41部屋
施設設備の概要（イ）設備等：	定員6名の小規模グループケア
施設設備の概要（ウ）：	うち分園型小規模グループケアホーム1カ所
施設設備の概要（エ）：	地域小規模児童養護施設1カ所

④理念・基本方針

<p>1 基本理念 様々な事情により入園してきた児童に対し、安心して生活できる場を提供し、必要な教育を受けさせ、家庭的な環境の下で心身ともに健やかに育てるとともに、最終目標として、社会への自立または家庭復帰を目指すため、様々な取り組みや支援を行います。</p> <p>2 基本方針</p> <p>① 安全、安心な生活の確保 児童を病気や事故等から護り、安心して生活できるよう、衣食住を整えるとともに、心理面においてもケアを行い、より安全、安心な生活環境づくりに努めます。</p> <p>② 児童の人権の尊重 児童福祉法及び子どもの権利条約等を遵守するとともに、児童の心の声に耳を傾け、多様性を認めながら、児童の人権を尊重し、プライバシーの保護にも努めます。また、児童の最善の利益を目指す中で、その自主性や自己決定を尊重します。</p> <p>③ 個別的な支援の充実 新しい社会的養育ビジョンに基づき、分園化及び小規模化したより家庭的な環境の中で、個別的な支援の充実を図ります。</p> <p>④ 健やかな成長を促すための教育と支援 児童それぞれの年齢や能力、発達状況に応じて適切な教育環境を調整するとともに、より発達や成長を促すための様々な取り組みを行い、健やかな成長を支援していきます。</p> <p>⑤ 自立を促すための取り組みと支援 社会へ巣立つにあたり、経済的自立は勿論、社会的自立、生活の自立、さらにはこれらを支える精神的自立の力を養うことができるよう、様々な取り組みや支援を行います。</p> <p>⑥ 家庭との連携と家庭環境の調整 児童の成長においては、家族の理解と協力が大きな力になることから、家族との協議を丁寧に行うとともに、家庭に戻り、家族と暮らすことは、児童の最大の願いであるため児童が早期に家庭復帰できるための環境づくりに取り組んでいきます。また、家庭復帰後についても、関係機関と連携し必要な支援を行います。</p> <p>⑦ 地域との共生 施設の児童は、地域の中で育つということを常に意識し、地域及び学校等の行事や祭などに積極的に参加するとともに、地域の方々にも、聖華園の行事にも参加してもらうなど、地域の方々と聖華園児童との相互理解を深めながら交流を図ります。特に、地域小規模児童養護施設では、地域の一員としての自覚を持たせ支援を行う。</p> <p>⑧ 職員の資質の向上 児童を護り、健やかに育てるためには職員の熱意と人間性、専門性の向上が不可欠であることから、これらを高めていくための研修や取り組みを積極的に行い、高度なケアニーズに対応していきます。</p>

⑤施設の特徴的な取組

・現在当園は、6棟のホームユニットケアで運営している。うち2棟は、地域小規模児童養護施設、分園型小規模グループケアホームで地域分散化を実施し、定員数も令和2年度は45名、令和4年度は41名、令和5年度には定員数を36名に段階的に削減し、家庭的な環境での養育を推進している。また、地域小規模児童養護施設と分園型小規模グループケアホームについては、児童の居室を完全個室で対応している。

職員配置は3～6名の担当制で、少数の児童に対し、大人と個別に関わる時間を多くとれるように配慮している。また令和4年度から処遇職員による食事の提供(食材の購入、献立、調理等)を行い、より家庭に近い環境の下で児童の支援を行っている。本園管理棟に自立支援室を設けて、高校3年生を対象として一人暮らしに向けた自活訓練を実施し、支援内容は、児童自ら起床し、弁当を詰めて登校する、掃除、洗濯等身の回りのことは自分で行う、土日の3食は食材を購入し自炊する、などの自立に向けた生活体験の支援を行っている。

施設の多機能化として、令和5年3月1日より、児童家庭支援センター「絆」の運営を開始し、地域の子育て家庭から養育、育児、 장애等の相談を受け、各専門職(社福士、心理士、保育士、保健師)が相談業務にあっている。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間(ア)契約日(開始日)	2023/5/11
評価実施期間(イ)評価結果確定日	2023/11/10
前回の受審時期(評価結果確定年度)	令和2年度(和暦)

⑦総評

【特に評価の高い点】

- 子ども達が家庭的な環境の下で健やかに育ち、社会への自立または家庭復帰を目指し支援するとの基本理念の下、子どもに寄り添い、自主性を尊重しながら支援されている様子がうかがえた。
- 段階的な施設定員の削減、小規模グループケアの実施、地域小規模児童養護施設・分園型小規模グループケア施設の開設などがこれまで逐次実施され、令和5年3月には児童家庭支援センター「絆」が開設されるなど経営を取り巻く環境・経営課題を踏まえた組織的な取り組みがなされている。
- 春秋の地域の河川清掃への参加、災害時の一時避難所の開設などとともに、児童家庭支援センター「絆」において子育てや家庭内の悩みごとについての電話やメール・来所による相談や職員訪問による相談等の支援に取り組まれている。
- 被措置児童虐待対応マニュアル、危機管理マニュアル、火災等避難誘導マニュアルを定め、職員及び子ども達に周知するとともに防災委員会を設け、ヒヤリ・ハット事例の収集分析・再発防止策の検討など組織的な取り組みがなされている。
- 生活支援マニュアル等を整備し、入園前の施設見学、面談等を通して園での生活の様子の説明や相談に応じるとともに、日常生活用品の準備、保育園や学校等の関係機関との情報の共有・協議と子どもや保護者への説明を密にし、不安の軽減に努められている。家庭復帰等に際しても、相談や来所・訪問等の児童家庭支援センターによる支援が有ることを説明されている。
- 退園後の生活に向けて、自立支援室を活用した生活全般に亘るリビングケアの支援、ブリッジフォースマイルの自立支援事業への参加、児童家庭支援センター「絆」による電話等による相談や来訪、職員による訪問など退所後の支援に積極的に取り組まれている。
- 小学校低学年、高学年、中学生それぞれに応じたプログラムで性についての正しい知識を持つように教育を定期的を実施されている。幼児についても個浴とし、おむつ交換・着換えも他の子どもの目につかないよう配慮されている。また、年齢に応じて、性病・妊娠など医師からの教育を受ける機会を設けるなど命と向き合う大切な教育として取り組まれている。

【改善の求められる点】

- 人事基準が明確にされ、職員への周知とともに、職員の目標管理の設定や施設長等との個人面談の実施等職員の意見等の把握に努められているが、評価が十分ではなく、職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度を評価する人事評価の仕組みの充実が望まれる。
- 火災や自然災害発生時の対応マニュアルが整備され、避難訓練や防災訓練を実施し、食料や生活用品、備品類の備蓄管理もなされているが、現在、作成検討が進められている災害発生時の養育・支援継続のため事業継続計画(BCP)の早期策定が望まれる。
- 心理士を配置し、心理的ケアが必要な子供に対してはプレイセラピーの実施等自立支援計画に基づく支援がなされ、職員研修や職員会議等で情報の共有、職員間の連携の強化にも配慮されているが、今後とも、職員が外部の専門家からスーパービジョンを受ける仕組みが充実することを期待したい。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

当園の取り組みについて、第三者委員の方々からの高評価をいただき、誠にありがとうございました。日頃から全職員で取り組んだ結果と受け止めております。また、改善についてご指導いただいた項目については、真摯に受け止めて改善に向けて取り組みを進めて参ります。これから当園としては、新しい養育ビジョン及び佐賀県社会的養育推進計画に基づき、施設の小規模化・地域分散化、高機能化及び多機能化を目指し、中期計画の見直しを毎年行い、子どもたちの権利擁護と、より家庭的で個別的な手厚い支援が行えるように努力してまいります。特に、今年度は児童家庭支援センターを開設し多機能化の一步を踏み出しました。改善点の中の、人事評価や災害時の事業継続支援(BCP)及び心理担当職員の外部からのスーパーバイズについては、早急に取り組みたいです。今後は、小規模化は全てホームで行っていますので、ホームの地域分散化とケアニーズの高い子どもの支援が可能になるように、専門職との連携や職員のスキルアップ、人材確保に力を入れ高機能化を図りたいと思います。多機能化については、児童家庭支援センターを中心に、本園の空きホームを利用し地域支援に貢献できる事業を展開していきたいと思っております。

⑨第三者評価結果(別紙)

(別紙)

第三者評価結果（児童養護施設）

共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 <input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。 <input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	a ○ ○ ○ ○ ○ ○
【コメント】	
理念・基本方針は、法人のホームページに登載されるとともにパンフレットや毎年の事業計画書にも記載され、保護者に送付されており、施設見学や各種相談の受付等の際にも周知に努められている。また、職員会議や職員研修等で職員への周知も継続的になされている。	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 <input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。 <input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。 <input type="checkbox"/> 子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設（法人）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。 <input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	a ○ ○ ○ ○
【コメント】	
佐賀県児童養護施設協議会や福祉事務所・児童相談所等の関係機関との研究会・協議会等を通じて福祉施策の動向や県の各種福祉計画の内容等の把握に努め、主任会・職員会議等で議論され、中・長期計画の見直しや毎年度の事業計画作成に反映する取り組みがなされている。	
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。 <input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。 <input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。 <input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。 <input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	a ○ ○ ○ ○
【コメント】	
段階的な施設定員の削減、小規模グループケアの実施、地域小規模児童養護施設・分園型小規模グループケア施設の開設などがこれまで逐次実施され、令和5年3月には児童家庭支援センターが開設されるなど経営を取り巻く環境・経営課題を踏まえた組織的な取り組みがなされている。	

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	○
【コメント】 経営環境・経営課題を踏まえた中・長期計画、収支計画が作成されるとともに、実施状況の把握・評価、必要に応じた見直しが組織的に行われている。		
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○
【コメント】 各年度の事業計画及び収支予算は、中・長期計画を踏まえた実行可能な内容のものであり、実施状況の評価を行える具体的なものとなっている。		
(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。	○
【コメント】 事業計画の策定・実施状況の把握・評価・見直しは、主任会、リーダー会等で議論・検討が行われ、職員会議等で説明がなされるなど組織的取り組みがなされている。		
②	7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	a
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や保護者会等で説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	○
【コメント】 事業計画は、理念・基本方針等とともに年度当初に保護者に郵送配布され、面会や行事参加の来園の際に説明・周知が図られている。		

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者 評価結果
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的を受審している。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○
【コメント】 養育・支援の質の向上に向けて定期的な第三者評価の受審、年1回の自己評価とともに職員アンケートを実施し、主任会・リーダー会・職員会議で議論するなど組織的に取り組まれている。		
②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○
【コメント】 評価結果については、主任会・リーダー会・職員会議で説明されるとともに課題解決のための改善策について議論・検討されるなど組織的に取り組まれている。		

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○
【コメント】 施設長は、職員の事務分掌、各種事務処理や養育支援・虐待防止・個人情報保護・危機管理等に関する諸規程やマニュアル等で自らの役割と責任を明確にするとともに職員会議等でリーダーシップの発揮に努められている。また、不在時の権限委任等の取り扱いも明確化されている。		
②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

【コメント】
施設長は、各種研修会・会議等に参加し、施設の経営管理、危機管理、児童の養育・支援等の関係法令の把握・理解に努めるとともに職員会議等で周知を図っている。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○

【コメント】

施設長は、職員の個人目標の設定と自己評価の実施、職員との個人面談の実施、園内外での職員研修の場の確保など養育・支援の質の向上に向けた組織的な取り組みに努められている。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○

【コメント】

施設長は、人員配置、労務管理、財務管理等の課題の把握に努め、業務の実効性の向上に向けて主任会やリーダー会、職員会議等で議論・検討し、対処していく取り組みを行っている。

2 福祉人材の確保・育成

(1)	福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○
【コメント】 養育・支援に関わる各種専門職員や加算職員の確保・配置など人材の確保、人員体制の充実に努められている。		

②	15 総合的な人事管理が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

人事基準を明確にし、職員に周知されるとともに、職員の目標管理の設定や施設長等との個人面談の実施等職員の意見等の把握に努められているが、評価が十分ではなく、今後は人事基準に基づき、職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度を評価する人事評価の仕組みの充実が望まれる。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した育児、看護、介護休暇や年次有給休暇の利用促進、職員の希望を踏まえた年5日間のリフレッシュ休暇の取得、時間外労働の把握管理など、職員の就業状況や意向を把握した働きやすい職場づくりに努められている。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

各職員が毎年度当初に目標管理シートを作成し、副施設長がシート作成時及び年度中途に個人面談を行うなど各職員の目標管理の仕組みが構築され、実践されている。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	○

【コメント】

新任職員や各種専門職員の研修等について毎年度の事業計画が作成され、園内外での研修の受講参加の機会の充実に努められ、計画的に実施されている。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	○

【コメント】

各職員の知識や経験、専門資格等とともに職員の意向に配慮した研修計画に基づき園内外での研修会の受講促進、必要に応じて園内での報告・伝達等の場の確保がなされている。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

【コメント】

社会福祉士や保育士育成のための実習生の受け入れについては、実習生受け入れに関する規程及び実習指導マニュアルを定め、実習指導者の研修、担当職員を定めて積極的に実習生の受け入れ、指導がなされている。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の実存意義や役割を明確にするように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	○
【コメント】 理念や基本方針、事業計画、事業報告、予算・決算、苦情・相談、第三者評価の受審状況等は、ホームページに登載するとともに印刷物や広報紙等により保護者への配付を初め地域社会へ広く公開されている。		
②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	○
【コメント】 法人の会計・経理、事務分掌、専決・代決等の決裁方法等の適正な法人・施設運営のための諸規程類が整備され、職員に周知されている。顧問税理士の監査支援を受けて定期的に監査が行われている。		

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○
	(児童養護施設) <input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	○
【コメント】 基本方針の一つの柱として「地域との共生」を掲げ、事業計画でその内容や目的を明確にし、地域子どもクラブへの加入、春秋の河川清掃や夏祭り等の地域行事への参加、「ふれあい祭り」等の園内行事への地域の方々の参加や地域の子どもの来園訪問等に積極的に対応されている。		

②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	○

【コメント】

ボランティア受け入れに関する規程を定め、窓口担当者の配置、登録手続、個人情報の保護や事故防止等の注意事項など円滑な受け入れのための体制が整備されており、学習指導のためのアルバイト学生の導入もなされている。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	○

【コメント】

小・中学校との月例会の開催を初め、幼稚園や児童相談所等の関係機関、地域のまちづくり協議会、ブリッジフォースマイル等の活動支援団体と定期的に連絡会を開催し、養育支援に係る情報の共有化、ネットワーク化を図るとともに職員間の情報の共有化も図られている。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設のもつ機能を地域へ還元したり、地域の関係機関・団体との連携等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	○

【コメント】

要保護児童地域対策協議会を初め、地域のまちづくり協議会への参加、職員のPTA役員の引き受けなど、地域との交流活動を通じて地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努められており、24時間対応の相談支援事業も実施されている。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	○

【コメント】

春秋の地域の河川清掃への参加、災害時の一時避難所の開設などとともに、令和5年3月に開所した児童家庭支援センター「絆」において子育てや家庭内の悩みごとについての電話やメール・来所による相談や職員訪問による相談等の支援に取り組まれている。

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○

【コメント】

子どもの安全な生活の確保、人権尊重、教育、自立支援、家庭との連携と家庭環境の調整などの子どもを尊重した養育・支援の基本姿勢が理念・基本方針に明確にされ、その実践に向けてケース会議や職員会議等で議論、検討、振り返りがなされるなど積極的に取り組まれている。

②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	○

【コメント】

個人情報の保護に関する規程を初め、生活支援や危機管理等のマニュアル等を整備し、職員へ周知するとともに実践状況の振り返りのための自己評価の実施、子供たち自身の生活の中でのプライバシー保護に係る指導・支援、施設・設備面の整備等しっかりと取り組まれている。

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の子どもや保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	○

【コメント】

理念や基本方針、養育・支援の内容、施設の特徴などをホームページやパンフレットで紹介するとともに、希望に応じて保護者や児童の施設見学の受け入れ、養育・支援の内容が説明されている。

②	31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、子どもや保護者等の自己決定を尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、子どもや保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	○
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な子どもや保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	○

【コメント】

養育・支援の開始・過程においては、入園についてのお願いや園での生活上の約束事などの資料を配布・説明し、自立支援計画策定時の保護者の意見聴取と同意など適切に実施されている。

③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	○

【コメント】

里親やファミリーホームへの措置変更、家庭復帰等に際しては、ケース検討会議を開催し、児童相談所や学校等との連携・情報交換を密にし、養育・支援の継続性に配慮した取扱いがなされている。また、子どもや保護者に対して児童家庭支援センター「絆」への電話や来所しての相談、センターからの訪問相談など24時間365日の対応が可能なことを説明し、資料を配付している。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。	第三者 評価結果																					
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="459 208 491 230">①</td> <td data-bbox="560 208 1337 264">33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。</td> <td data-bbox="1385 226 1409 248">a</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="560 282 1086 309">□子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。</td> <td data-bbox="1385 282 1409 304">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="560 331 1337 387">□子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。</td> <td data-bbox="1385 331 1409 353">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="560 409 1257 436">□職員等が、子どもの満足を把握する目的で、子ども会等に出席している。</td> <td data-bbox="1385 409 1409 432">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="560 459 1337 515">□子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。</td> <td data-bbox="1385 459 1409 481">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="560 537 1134 564">□分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。</td> <td data-bbox="1385 537 1409 560">○</td> </tr> </table>	①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a		□子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	○		□子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○		□職員等が、子どもの満足を把握する目的で、子ども会等に出席している。	○		□子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	○		□分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○				
①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a																				
	□子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	○																				
	□子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○																				
	□職員等が、子どもの満足を把握する目的で、子ども会等に出席している。	○																				
	□子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	○																				
	□分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○																				
【コメント】																						
年2回の子供へのアンケート調査、学期毎の児童会での意見聴取や意見箱への投書、日々の関わりの中での子どもの声などの把握に努め、職員会議やケース検討会議等で検討し、子どもの満足の向上に向けた取り組みがなされている。																						
(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。																						
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="459 775 491 797">①</td> <td data-bbox="560 790 1246 817">34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</td> <td data-bbox="1385 790 1409 813">a</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="560 840 1337 918">□養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。</td> <td data-bbox="1385 862 1409 884">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="560 936 1337 992">□苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。</td> <td data-bbox="1385 936 1409 958">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="560 1014 1337 1070">□苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。</td> <td data-bbox="1385 1014 1409 1037">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="560 1093 1246 1120">□苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。</td> <td data-bbox="1385 1093 1409 1115">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="560 1142 1337 1220">□苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、子どもや保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た子どもや保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。</td> <td data-bbox="1385 1142 1409 1164">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="560 1243 1337 1270">□苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。</td> <td data-bbox="1385 1243 1409 1265">○</td> </tr> </table>	①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a		□養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○		□苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。	○		□苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○		□苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○		□苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、子どもや保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た子どもや保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	○		□苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○	
①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a																				
	□養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○																				
	□苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。	○																				
	□苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○																				
	□苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○																				
	□苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、子どもや保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た子どもや保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	○																				
	□苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○																				
【コメント】																						
苦情解決システム管理要綱を定め、苦情解決のための第三者委員会委員の委嘱、意見箱の設置、子どもや保護者からの苦情・相談の受付、苦情等に対する対応策や結果等についてのプライバシー保護に配慮した情報公開など適切に対処されている。																						
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="459 1429 491 1451">②</td> <td data-bbox="560 1444 1337 1500">35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。</td> <td data-bbox="1385 1444 1409 1467">a</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="560 1518 1337 1574">□子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。</td> <td data-bbox="1385 1518 1409 1541">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="560 1597 1337 1653">□子どもや保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。</td> <td data-bbox="1385 1597 1409 1619">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="560 1675 1337 1702">□相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。</td> <td data-bbox="1385 1675 1409 1697">○</td> </tr> </table>	②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a		□子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	○		□子どもや保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○		□相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○										
②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a																				
	□子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	○																				
	□子どもや保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○																				
	□相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○																				
【コメント】																						
個別対応や心理面接を初め、日常生活の職員との触れ合いの中で職員の誰にでも相談ができる環境が作られている。また、学校や児童相談所等の園外の誰にでも意見や相談ができることを子ども達に周知するとともに相談しやすいスペースや環境整備にも配慮されている。																						

③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	○

【コメント】

子ども会や無記名アンケートなどを通して意見・要望の把握に努め、職員会議等で議論・検討し、必要に応じて子ども達へ説明するなど適切に対応されている。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

第三者
評価結果

①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	○

【コメント】

被措置児童虐待対応マニュアル、危機管理マニュアル、火災等避難誘導マニュアルを定め、職員及び子ども達に周知するとともに防災委員会を設け、ヒヤリ・ハット事例の収集分析・再発防止策の検討など組織的取り組みがなされている。

②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直ししている。	○
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	○

【コメント】

危機管理マニュアル等で感染症や食中毒の予防、負傷・急病・救急蘇生の対応など子どもの安全確保のための対応について定め、職員に周知し、随時訓練を行うとともに、手洗いやうがいの励行、日々の体調の把握・管理など子どもとともに適切に取り組まれている。

③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	<input type="radio"/>

【コメント】

火災や自然災害発生時の対応マニュアルが整備され、毎月の避難訓練や年2回の防災訓練の実施等消防署や地域消防団と連携した取り組みがなされており、食料や生活用品、備品類の備蓄管理もなされている。現在、災害発生時の養育・支援継続のための事業継続計画(BCP)の作成検討が進められており、その早期策定が望まれる。

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	<input type="radio"/>

【コメント】

児童養護施設運営指針、県児童養護施設援助指針を踏まえて生活支援マニュアルや事務処理マニュアル等を定め、職員間で共通認識を持って養育・支援の実践に努められている。職員研修や自己評価シート、人権擁護のチェックリストによる実施状況の確認、振り返りを定期的に行い、職員会議等で議論されている。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や子ども等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	<input type="radio"/>

【コメント】

自立支援計画の内容、養育・支援の実施状況等を踏まえ、毎年定期的には又は必要に応じて随時にケース検討会議や主任会や職員会議等で議論・検討され、関係マニュアル等の見直しがなされている。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	<input type="radio"/>

【コメント】

自立支援計画の策定責任者を定め、担当ホームの職員を中心に、子どもの希望や目標、保護者の意見とともに児童相談所や学校等の意見も聞きながらケース会議で検討され、適切に策定されている。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	<input type="radio"/>

【コメント】

自立支援計画票記入マニュアルに従い、各ホーム担当者を中心に半期毎に達成状況等のチェック評価を行い、子どもや保護者の意見要望、学校等の関係機関の意見も聞きながら見直し・策定されている。措置変更等の状況の変化により支援計画の見直しが必要になった場合も同様に随時見直しがなされている。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	<input type="radio"/>

【コメント】

養育・支援の実施状況は、園内のネットワークやSNSでリアルタイムに共有されるとともに、継続して見守り・支援等が必要な内容は、業務日誌、各児童のケース記録に記録され、ホーム会議やケース会議で情報の共有化が図られている。

②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

文書管理規程、個人情報の保護に関する要綱、事務処理マニュアル等の諸規程類が整備され、職員研修や職員会議等で周知するとともに、保護者に対する説明・周知、個人情報等の取扱いについての同意内容も明確にされている。

内容評価基準（24項目）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護		第三者 評価結果
①	A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの思想・信教の自由について、最大限に配慮し保障している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

個人情報の保護、虐待の防止、苦情解決その他の生活支援に関する要綱やマニュアル等が整備され、研修会や各種会議等で周知されるとともに人権擁護チェックリストや自己評価シートの記入など職員の振り返りの機会を設けるなどの取り組みが実践されている。子どもの思想・信教の自由についても適切に配慮されている。

(2) 権利について理解を促す取組

①	A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 権利についての理解を深めるよう、年齢に配慮した説明を工夫し、日常生活を通して支援している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの年齢や状態に応じて、権利についての理解を深めるよう、権利ノートやそれに代わる資料等を使用して、生活の中で保障されるさまざまな権利についてわかりやすく説明している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員間で子どもの権利に関する学習機会を持っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であり、自分を傷つけたりおとしめたりしてはならないこと、また、他人を傷つけたり脅かしたりしてはならないことが、日々の養育の中で伝わっている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 年下の子どもや障がいのある子どもなど、弱い立場にある子どもに対して、思いやりの心をもって接するように支援している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

権利ノートを活用して子ども達の学習の機会を設け、日常生活の中で自分を大切に、相手を思いやる心を育むよう支援に努められている。

(3) 生き立ちを振り返る取組

①	A3 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生き立ちを振り返る取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの発達状況等に応じて、適切に事実を伝えようと努めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事実を伝える場合には、個別の事情に応じて慎重に対応している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 伝え方や内容などについて職員会議等で確認し、職員間で共有している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事実を伝えた後、子どもの変容などを十分把握するとともに、適切なフォローを行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりに成長の記録(アルバム等)が用意され、空白が生じないように写真等の記録の収集・整理に努めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 成長の過程を必要に応じて職員と一緒に振り返り、子どもの生き立ちの整理に繋がっている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

子供の心身の発達段階を考慮しながら心理士を初め職員間で情報を共有し、慎重に対応されている。子どもの成長の記録等の整理、保存、管理についても子どもと一緒に取り組まれている。

(4) 被措置児童等虐待の防止等

①	A4 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 体罰や不適切なかかわり(暴力、人格的辱め、心理的虐待など)があった場合を想定して、施設長が職員・子ども双方にその原因や体罰等の内容・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがつけられている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止について、会議等で具体的な例を示すなどして職員に徹底し、行われていないことを確認している。また、不適切なかかわりを発見した場合は、記録し、必ず施設長に報告することが明文化されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識、具体的方法について学習する機会を設けており、不適切なかかわりの具体的な例を示して、子どもに周知し、子ども自らが訴えることができるようにしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待が疑われる事案が生じたときに、施設内で検証し、第三者の意見を聞くなどの迅速かつ誠実な対応をするための体制整備ができており、被措置児童等虐待の届出・通告があった場合には、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備・徹底されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について説明した資料を子ども等に配布、説明している。また、掲示物を掲示するなどして、子どもが自ら訴えることができるようにしている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

児童虐待対応マニュアル等を整備し、年2回のガイドラインのチェックを初め、定期的な職員研修の受講、振り返りのための自己評価・自己チェックの実施、日々の関わりの中での気付きの記録など未然防止と早期発見に取り組まれている。子ども達の学習の機会の確保とともに、学校や児童相談所など園外の方々にも相談できることが周知されている。

(5) 支援の継続性とアフターケア

①	A5 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの生活の連続性に関して、施設全体でその重要性を理解し、入所や退所に伴う不安を理解し受け止めるとともに、子どもの不安を軽減できるように配慮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 入所した時、温かく迎えることができるよう、受け入れの準備をしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもがそれまでの生活で築いてきた人間関係などを、可能な限り持続できるように配慮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 家庭復帰や施設変更にあたり、子どもが継続して安定した生活を送ることができるよう、支援を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】
生活支援マニュアル等を整備し、入園前の施設見学、面談等を通して園での生活の様子の説明や相談に応じるとともに、日常生活用品の準備、保育園や学校等の関係機関との情報の共有・協議と子どもや保護者への説明を密にし、不安の軽減に努められている。家庭復帰等に際しても、相談や来所・訪問等の児童家庭支援センターによる支援があることが説明されている。

②	A6 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 子どものニーズを把握し、退所後の生活に向けてリービングケアの支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 退所後も施設に相談できる窓口(担当者)があり、支援をしていくことを伝えている。	○
	<input type="checkbox"/> 退所者の状況の把握に努め、記録が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 行政機関や福祉機関、あるいは民間団体等と連携を図りながらアフターケアを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 本人からの連絡だけでなく、就労先、アパート等の居住先からの連絡、警察等からのトラブル発生の連絡などにも対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 退所者が集まれる機会や、退所者と職員・入所している子どもとが交流する機会を設けている。	○

【コメント】
退園後の生活に向けて、自立支援室を活用した生活全般に亘るリービングケアの支援、ブリッジフォースマイルの自立支援事業への参加、児童家庭支援センター「絆」による電話等による相談や来訪、職員による訪問など退所後の支援に積極的に行われている。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		第三者 評価結果
①	A7 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	a
	<input type="checkbox"/> 職員はさまざまな知見や経験によって培われた感性に基づいて子どもを理解し、受容的・支持的な態度で寄り添い、子どもと共に課題に向き合っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの生育歴を知り、そのときどきで子どもの心に何が起こっていたのかを理解している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが表出する感情や言動のみを取り上げるのではなく、被虐待体験や分離体験などに伴う苦痛・いかり、見捨てられ感も含めて、子どもの心に何が起こっているのかを理解しようとしている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもに行動上の問題等があった場合、単にその行為を取り上げて叱責するのではなく、背景にある心理的課題の把握に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもたちに職員への信頼が芽生えていることが、利用者アンケートを通じて感じられる。	○

【コメント】
小規模グループケアホームの特性を活かし、日々の関わりの中で子どもに寄り添い、子どもとともに暮らしていく姿勢が感じられる。

②	A8 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活をいとなむことを通してなされるよう養育・支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの基本的欲求を満たすよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 基本的欲求の充足において、子どもと職員との関係性を重視している。	○
	<input type="checkbox"/> 生活の決まりは、秩序ある生活の範囲内で子どもの意思を尊重した柔軟なものとなっている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもにとって身近な職員が一定の裁量権を有し、個々の子どもの状況に応じて柔軟に対応できる体制となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 基本的な信頼関係を構築するために職員と子どもが個別的に触れ合う時間を確保している。	○
	<input type="checkbox"/> 夜目覚めたとき大人の存在が感じられるなど安心感に配慮している。	○

【コメント】

各ホームの職員は、連携して子どもとの触れ合いを密にして状況に応じて柔軟に対応し、子ども達が安心して毎日を過ごせるよう支援されている様子がうかがえる。

③	A9 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子ども自身が自らの生活を主体的に考え、営むことができるよう支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 快適な生活に向けての取組を職員と子どもが共に考え、自分たちで生活をつくっているという実感を持たせるとともに、施設の運営に反映させている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分たちの生活における問題や課題について主体的に検討する機会を日常的に確保している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもがやらなければならないことや当然できることについては、子ども自身が行うように見守ったり、働きかけたりしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもを見守りながら状況を的確に把握し、賞賛、励まし、感謝、指示、注意等の声かけを適切に行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> つまずきや失敗の体験を大切にし、主体的に問題を解決していくよう支援し、必要に応じてフォローしている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

発達段階に応じ、子ども自身が考え、行動する姿勢を尊重し、見守り支援するよう取り組まれている。

④	A10 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設内での養育が、年齢や発達の状況、課題等に応じたプログラムの下、実施されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 日常生活の中で、子どもたちの学びや遊びに関するニーズを把握し、可能な限りニーズに応えている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 幼児から高校生まで、年齢段階に応じた図書などの文化財、玩具・遊具が用意、利用されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学校や地域にある子どもたちの学びや遊びに関する情報を把握し、必要な情報交換ができています。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どものニーズに応えられない場合、子どもがきちんと納得できる説明がされている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 幼稚園等に通わせている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 子どもたちの学びや遊びを保障するための、資源(専門機関やボランティア等)が十分に活用されている。	<input type="checkbox"/>	

【コメント】

玩具や遊具、図書類の整備、学校の友達や地域の子供会の仲間との相互交流に積極的に取り組まれている。保育園への通園、子どもの心身の状況を踏まえた特別支援学級等への通学、学生アルバイトを雇用しての学習指導、中学3年生・高校生の通塾希望者の通塾などもなされている。

⑤	A11 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもが社会生活をいとなむ上での必要な知識や技術を日常的に伝え、子どもがそれらを習得できるよう支援している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもと職員が十分な話し合いのもとに「しなければならないこと」と「してはならないこと」を理解し、生活するうえでの規範等守るべき決まりや約束を一緒に考え作っていくようにしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 地域社会への積極的参加を図る等、社会性を習得する機会を設けている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 発達の状況に応じ、身体(清潔、病気、事故等)について自己管理できるよう支援している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 発達の状況に応じて、電話の対応、ネットやSNSに関する知識などが身につくよう支援している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

言葉遣いや挨拶、起床・食事・排泄・入浴・清掃・洗濯・身だしなみ・体調管理等の基本的な生活習慣の確立とともに、外出・買い物・交通機関利用等の社会生活の体験の機会の確保など積極的に取り組まれている。

(2) 食生活

①	A12 おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 楽しい雰囲気でき事ができるように、年齢や個人差に応じて食事時間に配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食事時間が他の子どもと違う場合にも、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという食事の適温提供に配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食事場所は明るく楽しい雰囲気、常に清潔が保たれたもとで、職員と子ども、そして子ども同士のコミュニケーションの場として機能するよう工夫している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に残食の状況や子どもの嗜好を把握するための取組がなされ、それが献立に反映されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 基礎的な調理技術を習得できるよう、食事やおやつをつくる機会を設けている。	<input type="radio"/>

【コメント】

給食室で調理員が調理する方式から、各ホームで職員が子ども達の前で調理する方式に、令和4年4月から変更され、各ホームがそれぞれに子ども達の希望に沿ったメニューや季節に応じた食事、外食やテイクアウトの利用など食事を楽しむことができるようにされており、食事時間への配慮もされている。

(3) 衣生活

①	A13 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 常に衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを着用している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 汚れた時にすぐに着替えることができ、またTPOに合わせた服装ができるよう、十分な衣類が確保されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 気候、生活場面、汚れなどに応じた選択、着替えや衣類の整理、保管などの衣習慣を習得させている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 洗濯、アイロンかけ、補修等衣服の管理を子どもの見えるところで行うよう配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 衣服を通じて子どもが適切に自己表現をできるように支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達状況や好みに合わせて子ども自身が衣服を選択し購入できる機会を設けている。	<input type="radio"/>

【コメント】

衣類の洗濯・整理・保管、季節に応じた衣類の着用、清潔の保持についても、発達段階に応じて支援されており、子どもの好みに合わせた買い物の機会も設けられている。

(4) 住生活

①	A14 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもにとって居心地の良い安心安全な環境とは何かを考え、積極的に環境整備を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 小規模グループでの養育を行う環境づくりに配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 中学生以上は個室が望ましいが、相部屋であっても個人の空間を確保している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 身につけるもの、日常的に使用するもの、日用品などは、個人所有としている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食堂やリビングなどの共有スペースは常にきれいにし、家庭的な雰囲気になるよう配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 設備や家具什器について、汚れたり壊れたりしていない。破損箇所については必要な修繕を迅速に行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達や子どもの状況に応じて日常的な清掃や大掃除を行い、居室等の整理整頓、掃除等の習慣が身につくようにしている。	<input type="radio"/>

【コメント】

小規模グループケアホームの特性を活かして居室は個室となっており、子ども達の面前での調理など家庭的な環境の生活空間となっている。居室やリビング等の共有しているスペースの清掃や清潔保持も生活習慣として身につくよう支援されている。

(5) 健康と安全

①	A15 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの平常の健康状態や発育・発達状態を把握し、定期的に子どもの健康管理に努めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 健康上特別な配慮を要する子どもについては、医療機関と連携して、日頃から注意深く観察し、対応している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 受診や服薬が必要な場合、子どもがその必要性を理解できるよう、説明している。服薬管理の必要な子どもについては、医療機関と連携しながら服薬や薬歴のチェックを行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員間で医療や健康に関して学習する機会を設け、知識を深める努力をしている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

常勤の看護師を配置し、子どもの健康管理、服薬管理、通院治療の対応とともに、学校や嘱託医、医療機関等と連携して子供の健康状態や感染症予防対策など適切に支援されている。

(6) 性に関する教育

①	A16 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a
	<input type="checkbox"/> 他者の性を尊重し、年齢相応で健全な他者とのつき合いができるよう配慮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に答えている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 性についての正しい知識、関心が持てるよう、年齢、発達の状況に応じたカリキュラムを用意し、活用している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性をめぐる諸課題への支援や、学習会などを職員や子どもに対して実施している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

小学校低学年、高学年、中学生を対象にそれぞれに応じたプログラムで性についての正しい知識を持つように教育を定期的実施されている。幼児についても個浴とし、おむつ交換・着換えも他の子どもの目につかないよう配慮されている。また、年齢に応じて、性病・妊娠など医師からの教育を受ける機会を設けるなど命と向き合う大切な教育として取り組まれている。

(7) 行動上の問題及び問題状況への対応

①	A17 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が、行動上の問題があった子どもにとっての癒しの場になるよう配慮している。また、周囲の子どもを安全を守る配慮がなされている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設の日々の生活が持続的に安定したものとなっていることは、子どもの行動上の問題の軽減に寄与している。また子どもの行動上の問題が起きた時も、その都度、問題の要因を十分に分析して、施設全体で立て直そうと努力している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 不適切な行動を問題とし、人格を否定しないことに配慮をしている。職員の研修等を行い、行動上の問題に対して適切な援助技術を習得できるようにしている。暴力を受けた職員へ無力感等への配慮も行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> くり返し児童相談所、専門医療機関、警察等と協議を重ね、事態改善の方策を見つけ出そうと努力している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

小規模グループケアホームの特性を活かし、子どものプライバシーの確保とともに職員の目が届きやすい環境での支援、心理療法やプレイルームの活用、クールダウンなどの支援技術の習得のための職員研修の充実に努められている。

②	A18 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 問題の発生予防のために、施設内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方について定期的に点検を行っており、不備や十分でない点は改善を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 生活グループの構成には、子ども同士の関係性、年齢、障害などへの配慮の必要性等に配慮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 課題のある子ども、入所もない子どもの場合は特別な配慮が必要となることから、児童相談所と連携して個別援助を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 大人(職員)相互の信頼関係が保たれ、子どもがそれを感じ取れるようになっている。子ども間での暴力やいじめが発覚した場合には、施設長が中心になり、全職員が一丸となって適切な対応ができるような体制になっている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 暴力やいじめに対する対応が施設だけでは困難と判断した場合には、児童相談所や他機関等の協力を得ながら対応している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども間の性的加害・被害を把握し適切に対応している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

いじめや差別を許さず、自身を守り、他者を尊重する人権教育を子ども達に徹底されている。子ども達の年齢や関係性等を考慮した各ホームへの配置、リーダー会や主任会職員会議等での情報の共有と職員一体となった支援体制の確立に努められている。

(8) 心理的ケア

①	A19 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアを必要とする子どもについては、自立支援計画に基づき心理支援プログラムが策定されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設における職員間の連携が強化されるなど、心理的支援が施設全体の中で有効に組み込まれている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアが必要な子どもへの対応に関する職員研修やスーパービジョンが行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員が必要に応じて外部の心理の専門家からスーパービジョンを受ける体制が整っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 心理療法を行うことができる有資格者を配置し、心理療法を実施するスペースを確保している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携し、対象となる子どもの保護者等へ定期的な助言・援助を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

心理士を配置し、心理的ケアが必要な子供に対してはプレイセラピーの実施等自立支援計画に基づく支援がなされており、職員研修や職員会議等で情報の共有、職員間の連携の強化にも配慮されている。今後は、職員が外部の専門家からスーパービジョンを受ける仕組みが充実することに期待したい。

(9) 学習・進学支援、進路支援等

①	A20 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 静かに落ち着いて勉強できるようにその時の本人の希望に沿えるような個別スペースや学習室を用意するなど、学習のための環境づくりの配慮をし、学習習慣が身につくよう援助している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学校教師と十分な連携をとり、常に子ども個々の学力を把握し、学力に応じた個別的な学習支援を行っている。一人ひとりの必要に応じて、学習ボランティアや家庭教師、地域の学習塾等を活用する機会を提供している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学力が低い子どもについては、基礎学力の回復に努める支援をしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 忘れ物や宿題の未提出について把握し、子どもに応じた支援をしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 障害のある子どものために、通級による指導や特別支援学級、特別支援学校等への通学を支援している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

居室での自宅学習の習慣付け、学生アルバイトを雇用しての学習指導、子供の心身の状態を踏まえた特別支援学級への通学、中学3年生・高校生の通塾希望者の通塾など個々の子どもに応じた学習支援がなされている。

②	A21 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 進路について自己決定ができるよう進路選択に必要な資料を収集し、子どもに判断材料を提供し、子どもと十分に話し合っている。	○
	<input type="checkbox"/> 進路選択に当たって、本人、親、学校、児童相談所の意見を十分聞き、自立支援計画に載せ、各機関と連携し支援をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 就学者自立生活支援事業、社会的養護自立支援事業、身元保証人確保対策事業、奨学金など、進路決定のための経済的な援助の仕組みについての情報提供をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 進路決定後のフォローアップや失敗した場合に対応する体制ができており、対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 学校を中退したり、不登校となった子どもへの支援のなかで、就労(支援)しながら施設入所を継続することをもって社会経験を積めるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 高校卒業後も進学を希望する子どものために、資金面、生活面、精神的面など、進学の実現に向けて支援、情報提供をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。	○

【コメント】

進路選択に当たっては、子どもの意向を尊重し、保護者や学校、児童相談所とも協議し、自己決定できるよう支援されている。中途退学や離職等の事例が発生した場合も、転学やインターンシップからアルバイト、就職などの進路変更等について関係機関と連携して支援を行っている。

③	A22 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、社会の仕組みやルールなど、自分の行為に対する責任について話あっている。	○
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、金銭管理や生活スキル、メンタル面の支援など、子どもの自立支援に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 実習先や体験先の開拓を積極的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 職場実習の効果を高めるため、協力事業主等と連携している。	○
	<input type="checkbox"/> アルバイトや、各種の資格取得を積極的に奨励している。	○

【コメント】

インターンシップ等での職場体験、就業体験等の機会の確保とともにブリッジフォースマイルの協力を得ながら就職や自立支援に取り組まれている。高校生についてはアルバイト等を通しての社会体験や各種資格、免許等の取得も奨励されている。

(10) 施設と家族との信頼関係づくり

①	A23 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設の相談窓口および支援方針について家族に説明し、家族と施設、児童相談所が子どもの成長をともに考えることを伝え、家族と信頼関係を構築できるよう図っている。	○
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員の役割を明確にし、施設全体で家族関係調整、相談に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅などを取り入れ子どもと家族の継続的な関係づくりに積極的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 外出、一時帰宅後の子どもの様子を注意深く観察し、不適切なかかわりの発見に努め、さらに保護者等による「不当に妨げる行為」に対して適切な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもに関する学校、地域、施設等の行事予定や情報を家族に随時知らせ、必要に応じて保護者等にも行事への参加や協力を得ている。	○

【コメント】

園や学校・地域行事への保護者の積極的な参加の呼びかけ、家庭支援専門相談員を中心に、家庭訪問や家族面談の実施、外出・一時帰宅等による家族関係づくりの支援に積極的に取り組まれている。

(11) 親子関係の再構築支援

①	A24 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員を中心に、ケースの見立て、現実的な取組を可能とする改善ポイントの絞り込みを行うなど、再構築のための支援方針が明確にされ施設全体で共有されている。	○
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅、あるいは家庭訪問、施設における親子生活訓練室の活用や家族療法事業の実施などを通して、家族との関係の継続、修復、養育力の向上などに取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 児童相談所等の関係機関と密接に協議し連携を図って家族支援の取組を行っている。	○

【コメント】

家庭支援専門相談員を中心にして児童相談所等と連携を密にし、親子関係再構築の課題等について職員が情報を共有し、外出や一時帰宅、相談や面会、家庭訪問等の家族支援に取り組まれている。